

令和4年度 第4回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年2月10日（金） 午後1時30分から午後2時02分
- 2 開催場所 山元町役場1階 大会議室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
 - (1) 開会
 - (2) 開会の挨拶
 - (3) 議題
 - (1) 小学校再編について
 - (4) その他
 - (5) 閉会

【司会：大和田教育総務課長】

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、令和4年度第4回山元町総合教育会議を開催いたします。

開会にあたりまして、橋元町長より挨拶を申し上げます。

【山元町長：橋元伸一】

皆さん、こんにちは。ご挨拶させていただきます。

本日は、今年度、第4回目となります。総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、本庁教育行政全般にわたりまして、日頃よりご理解、ご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

私が町長に就任後、昨年5月に、一旦、保留とさせていただきました、小学校再編事務について、住民の皆さんとの五回の懇談会、山下第一小学校の視察を経まして、1月の総合教育会議の場で、判断するという風にいたしました。やはり大きな問題であり、なかなか、私も決断するに時間がかかりまして、ここ1週間、本当になかなか、夜も寝れないぐらい、考えさせていただきました。

その結果を、今日、判断をいたしましたので、再編についての方向性を、私の考えをお示ししたいと思いますので、本日はよろしく申し上げます。

－以下議事－

【司会】（大和田教育総務課長）

ありがとうございました。

それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。

会議の議長については、運営要綱第4条の規定に基づき、橋元町長にお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

【議長】（橋元町長）

はい。

それでは、議長をお預かりいたしましたので、議事を進めさせていただきます。

まずは、（1）小学校再編についてというところで、資料1の説明を事務局の方からよろしくお願ひします。

【事務局】（大和田教育総務課長）

はい。それでは、事務局の方から、資料1についてですけれども、先月の1月26日に第3回の総合教育会議を開催いたしました。その際、当局の方から、保護者との懇談会及び山小の視察を終えたばかりで、まだ小学校再編についての決断が難しいというお話がありました。本日の資料1につきましては、1月21日に行われました、保護者対象の懇談会の意見の集約の資料となっております。

当日の懇談会に、欠席だった委員へ事前にこちらの資料を配布しております。

また、町長及び他の委員は全員出席しておりましたので、資料については、特に説明は省略いたしますので、こちらの資料については参考としてご覧いただければと考えております。教育総務課からは以上です。

【議長】（橋元町長）

はい、ということで、この資料1というのは、先日の懇談会の、質疑応答の部分の議事録のような形になっております。どのような意見をいただいて、どのような回答をしたかというところの内容になっておりますので、先日の懇談会では、この皆さん出席をいただいており、内容を分かっていると思いますので、省略いたします。目を通していただければと思います。

1月の総合教育会議の中で、保護者対象の懇談会及び第一小学校の視察を終えたばかりで、なかなか、結論が出せないということで、この場では考え方を、皆さんにお伝えすることができませんでした。今日は、なんとか考えて、私なりの方向性を、決めてきました。いつまでもただただと後ろに、伸ばすわけにもいかないと思います。ただ、学校の再編ということ、大変な事案であります。

簡単に、ある一定の期間の中でいつまでに決定するというところで、決定したことではなくて、このことについては、もう、4年、5年前から、2年間にわたる色々な調査、この委員会の中で、調査して、意見交換、協議をした上で、教育委員会の方で出した結論等もあります。その点を踏まえて、私なりに決断をさせていただきました。

この旨をお伝えさせていただきます。

小学校の再編につきましては、昨年5月に開催しました総合教育会議において、小学校の再編は、一旦、保留とさせていただきます。町として、改めて懇談会を開催して、町民の皆様の生の声をお聞かせいただいた上で、小学校の再編を判断するとさせていただきます。

懇談会は、昨年11月に4回、小学校区単位で開催いたしましたが、保護者の方の出席が少なかったということもありまして、再度、1月に、保護者を対象とした懇談会の開催、1月下旬には、教育委員の皆様と山下第一小学校へ訪問しまして、実際の複式学級の様子などを視察いたしました。

あの、五回で、保護者が少ないということで、1月に保護者向けの懇談会を開催させていただきましたが、私からするとそれも、少なかったかなというように感じております。

そういうこともあるのですけれども、先ほども言いましたように、これで本当に1回、2回でいいのかと、いろんなことも、皆さんの中にもあるとは思いますが、これまでの私なりの懇談会以外で、保護者の方たちの意見等をお伺いしたところもありますので、その点も含めて判断をさせていただきました。

小学校単位で懇談会を開催しましたが、保護者が少なかったが本当に少なかったのかなと。皆さんの時間的な部分があつてなのかどうか。こちらなりに、周りを確認し、日にちと時間を設定したつもりだったのですが、このようになってしまいました。

今回の懇談会で感じたことはですね。

地域の皆さんがそれぞれの学校に対し非常に愛着を持っており、長い歴史の中で地域の学校として愛されてきたことを改めて、認識したところであります。懇談会においては、地域住民の様々な学校に対する思い、まちづくりに対する提言など、多くの意見をいただきました。

私といたしましては先に教育委員会で示した、小学校再建方針の検討委員会での検討の経緯や、今回実施した懇談会での地域の皆様からいただいた、学校は地域コミュニティの場として、地域に残してほしいというご意見を多くいただきましたけれども、教育委員会での方針通り、4小学校を1つの小学校に再編し、新たな小学校として、生まれ変わり、進めていきたいという風に、将来を担う子供たちが、より良い学びをできるような教育の環境を作ることが、私たち大人として、そして町の役目なのかなという風に判断したところであります。

多くの皆様から、本当に色々な、様々な学校に対する思い、そして学校を残してほしいという気持ち、ヒシヒシと訴える言葉が、今でも私の頭の中にあります。

ですから、本当に、本当に悩んだ末に、私としては、やはり学校の主役は子供なので、子供のこと考えた教育の環境を整える。

そして、できれば、これも1つのカラーなのかなとは思いますが、地区ごとに、色々な学校作りというのが、地域の皆さんに支えられながら出来上がっていくわけですが、それを1つにして、同じ環境のもとで、多くの子供たちが、多くの友達と、

触れ合いながら、いろんな声を聞きながら、いろんな体験をしながら、成長していくのが、子供にとってはいいのではないかという私の判断になりました。

本当に、子供達のことを考えて、学校をそのような形で進められたらというように、考えたところであります。

しかしながらですね、学校とは子供たちだけではなくて、これまで地域に支えられてきたというところもあります。子供たちを見守っていただいた地域の方々の気持ちも大切だと感じております。

学校が1つになることによって、どこに作る等というのは、これからの協議の中で進めていくこととなりますが、その抜けた穴を、町としてしっかりと、町づくりという観点から隙間を埋めるような施策を、住民の方たちへ示していかなくてはいけないと感じております。そのような形で、今後のまちづくりをしっかりと取り組んでいきたいと思っております。それが、私の出した今回の結論であります。

よろしく願いいたします。

方向性については、多分、色々、賛否両論あると思います。それについて、委員の方々よりご意見をいただければと思いますので、お願いしたいと思っております。

何か、ございませんでしょうか。

本当であれば委員会で決めた、4月から進めるべきであった検討委員会ですが、1年間ストップしていただきましたので、皆様方からもご意見をいただければという風に思っています。なんでも結構です。

【事務局】（菊池教育長）

最初に私からしましょう。教育委員会では、懇談会の折いろんな質問いただきながら、これまで、教育委員会で正式に方針を決めて、中学校の再編を進めそれが終わったら小学校という風に、考えてきたところでした。ただ、町長としては、一旦保留にしてほしいということで、これまで来たわけですが、改めて方針の通り、再編を町としても進めていくという風におっしゃっていただいたわけですが、私の立場から言えば、大変な防衛団であるという風に思っております。

今後、具体的に、小学校の再編を進めるとなれば、いろんな課題も多く、すぐにできることではないと思います。また、スケジュール等、検討しなければいけないことは、多々あるかなと思いますが、その辺のところも、十分色々考えながら、委員会としては進めてまいりたいなと思っております。

なおですね、一方、中学校の再編の前からですが、山元町では町を挙げて、学校教育の充実を図るという取り組みをしてきました。

みのりプロジェクトという取り組みも、今年度4年目、来年度で5年目になります。一応、10年計画としているのですが、再編、正式に小学校の再編後、進めるということではありますけども、学校の動きは止まる時間はありませんので、これまでも充実を図ってまいりましたが、今後も一層プロジェクトによる各学校の教育活動の充実を図っていききたいなと思っております。はい、私から以上です。

【議長】（橋元町長）

すいません。私から、1つ、皆さんにお願いがあります。

1年間、遅らせストップして待っていただいたのですが、今日、このような形で、私の思いを今ここで方向性というか、決めたということで、話させていただきましたが、議会の方へは、私の気持ちをまだ伝えておりません。この後、月曜日3日に議会の方たちと会議もあります。その中で、このことをお伝えさせていただきます。その後、少し時間がかかるかもしれないのですが、議会の方たちと、意見交換と言いますか、話合う時間を少しいただきたいという風に思います。

ここで決めたから、すぐ明日からとか、4月1日からスタートすることということではなくて、先ほども言いましたが、このことはすごく大事なことだと思います。そして、私は、教育にお金をかけていい場所だと思っています。子供たちには、できるだけのことを町としてやってあげたいと思います。それにはですね、やはり、議会議員の方たちにも理解をいただかないと、うまく進まないのではないかとこのように思います。議会議員の方たちは、住民の代表として、出ていますので、意見交換も必要だと思っています。

月曜日に、提案をさせていただきます。その後、議会の方の都合もあると思いますので、すぐに、明日、明後日に会議ができるかは、わかりません。3月の議会も控えており、議会の方と調整をします。時間をいただければと思いますので、よろしく願いします。

他に何かありませんか。

【教育委員】（菅野正彦）

本当に、町長さんにおかれましては、熟考に熟考を重ねてだした、判断だという風に思います。本当にご苦労様です。ありがとうございます。それで、これから1つの学校にするということで、中学校を再編した時もそうですが、それぞれの学校の持っている歴史、それをやはり尊重して、それを生かす学校をつくり、それから、それぞれの学校で、いろんな文化を育んできていると思うのでそれも生かせるような状況で、いけたらいいのかなと思います。また、地域の方々の思い、それもあります。それも汲み取りながら、1つの学校にしていく、山元町は1つというような考えのもとに、地区住民の方々の英知を集めた学校づくりというような形で、いければいいのかな、みんなで力を合わせて、やっていければいいのかなと思います。

そして、やはり子供たちにとって魅力ある学校で、町民の方々も誇れる学校、そういう風な学校にしていきたいなど、教育長さんがお話されたみたいに、課題はたくさんあると思います。通学の問題、それから、どのような学校にしていくかというようなこと、そのようなことも課題ですね、皆さんで英知を出し合って1つ1つ課題を解決して、本当に素晴らしい学校を作り上げていきたい、そういう風になればいいかなと思います。

【議長】（橋元町長）

ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

やはり教育委員会とは、教育現場の専門部局として2年間に渡り、委員会を引っ張って、検討委員会を引っ張っていただいて、熟考した上で、子供のためには何がいいかということで、このような、判断をしてきたと思ひていましたが、私も昨年、町長に就任し、その前は議員をしておりましたが、説明会では直接、住民の方と顔をあわせ、意見は聞かせていただきました。向かい合って直接ということがなかったのも、こちらで確認をしたところですね。

この学校再編については、教育委員会が対応をしてきて、町としての対応というのが薄かったかなと感じました。設置者として、直接皆さんの意見を聞いた上で判断をしなければいけないと思ひ、1年待たせてもらひ、各地区1回ずつの懇談会しかできなかったのですが、これまでのいただいた意見と同じことと言ひますかね、当たり前ですね。気持ちの強い思ひを持っている方は、やはりそういう思ひで来ますので、それはしっかりと、受け止めさせていただきました。特に年配の方たちです。これまでずっと、支えてきた地域の人たちの思ひというのは本当に伝わってきました。私の両親のような年齢の方たちから、いっぱい訴えをいただきました。その思ひもすごく考えました。本当に2つにできないかとか、全部残せないかとか、いろんなことは考えました。

しかし今回の新たな、今後の子供の推移、人数を見て色々考えた時に、私として定住促進は図っていきたくと思ひています。ただ都会のように、一気に山を崩して、1000戸も家を、住宅地作りましようというようなことはできないので、そう簡単に、100人も200人も一気に子供が増えるということは、難しいかなと。とにかく、今より少しでも減らないように、少しずつでも子供さんたち、若い方たちが、住みたいと思ひてもらえるような街づくりをして、みんなに住んでもらえるようにしていきたいと思ひています。

やっぱり、その、学校のことを考えた時に、10年かかるか20年かかるかわからないような計画の中に子供を巻き込んで、少ないからダメだとか、多いからいいとか、そういうことではないと思ひます。一長一短色々あると思ひます。

ただ、総合的に判断をした時に、やはり大勢の中で、いろんな友達と知り合って、話をして、遊んで、そういう中で、子供が成長した方が私はいいいのかなという風に思ひましたので、このような判断をさせていただいた次第であります。

その辺を、これから、学校を残してほしいと訴えていただいた方たちに、理解していただけるように、少しでもお話をさせていただいて、その前に、まず議会の方とお話をさせていただいて、今後を進めていきたいという風に思ひます。

どこの段階でスタートが切れるか未定と、表現して申し訳ないのですが、本当に、数ヶ月お待ちいただきたい、私に時間をいただきたいという風に思ひます。

よろしくお願ひいたします。他に何かあれば、なんでも結構です。言ひていただいた

ほうも、私もまた今後のことに役に立ちますので、思いを言っていただければと思います。

【教育委員】（横山真理子）

はい、よろしいですか。

私も、先ほどの菅野委員のご意見に、賛同ですけれども、町長さんのご決断に賛成です。それに加えまして、新しく、山元町に住んでいる若い世代の方々、つばめの杜とかはいらっしやいますよね。その方たちの意見、またその地域に今まで住んでいた方たちの意見等も取り入れて、若い方たちに住みやすくなるように、色々な施策等もやっていると思いますが、住みやすいような町づくりをしてほしい。

それからやっぱり若い方たちのご意見、保護者の方や子供たちの意見等、私が感じているのですが、やっぱり大人主体というか、そういう教育に結構なっていると思います。それで、子供たちに、中学校も小学校も子供たちにどんな学校にしたいかとか、これから新しくする学校をどんな学校にしたいかという案を出すみたいな形で、結構子供たちすごく考えているなというのが、活動を通して感じていますので、子供たちの意見も聞いていただければ、構築に生かせるかと思います。

以上です、よろしくお願いします。

【議長】（橋元町長）

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。他にありませんでしょうか。

はい。古泉委員。

【教育委員】（古泉可奈）

はい。

菅野委員や、横山委員たちと同じようなことを考えました。

いろんな方からの意見、皆さんの意見を満足いくような形で実現させるのはとても難しいかと、辛い決断だと思いましたが、決めたからには、もう触れずにこの道が最適だといった強い意識と意見を持って、リーダーシップを発揮して進めていただきたいなと思いました。

結果的にみんなが1つにしてよかったと言ってもらえるような、学校作りができれば皆さん、納得していただけるのではないかなと思います。これはもう結果を出していくしかないなので、ぜひ、今でも町長さんがそうやって、1度立ち止まってこうやってお話をする機会を作ってくださったことで、町民の皆様もまた、小学校再編に関してすごく今興味を持っていただいて、そういう機会もできましたし、これからは、方向性が決まったということで、検討委員会が立ち上がって、どういう学校にしていこうかっていう話を進めていく段階になると思うので、そういう時に士気が高まったところで、情報を出していけば、また皆さん、新しい学校を作るのにこんな学校がいいよとか、色々意見が出てくるかと思いますが、そういう意見を汲み取って、より良

い学校、子供たちだけでなく地域の方にとってもいいような、素敵な学校ができればいいなと思います。

【議長】（橋元町長）

ありがとうございます。

【教育委員】（大内悦夫）

すいません。遅くなって。

あのご決断、それは当然、我々教育委員としても同じ方向で向かなくてはいけないという風に思います。

今、中学校でお手伝いさせてもらっているのですが、今の中学校3年生は制服が2つです。山下中学校と坂元中学校と2種類の制服を着て、同じ教室で勉強していますが、全く違和感はありません。

子供たちは、将来的にはと一緒にしたとしても、子供たちには、そういう違和感はなく、順応性はあると思います。周りの人たちの順応性がどうかというなら、その辺はこれからやっぱり時間をかけてやるしかないと思います。

新しい小学校を統合した段階で、単に小学校のことだけでいいのか、また新たな形態の確保にするのかについては、そういうのもありうるかもしれないなというような気がありますので、今後は検討してもらえればなという具合に思います。

すいません、遅くなりました。

【議長】（橋元町長）

ありがとうございます。

教育長はじめ、委員の方々には、教育のプロとして、先生を何十年もやってきた方々ですので、本当の学校の中身、子供たちの気持ちを理解していただいているという風に思います。町としては、専門的な知識を持った皆さんの力を借りて、教育委員会の力を借りて、学校運営をお願いしているというところになります。

町としては、先ほども言いましたように、とにかくその教育環境を整える、子供たちのために何をしたらいいのか、どの方向に行ったらいいのか、委員の方たちに、方向性を決めていただいて、このような形で町としての方向もこちらとして考えて、できれば町民も同じ、議会も同じ、できるだけ学校に限らず、いろんな施策について、みんなで同じ方向を向いて進めるような、形の進め方を取って、私は、運営していきたいと思っています。今後も、町として学校についてはできる限りの、支援と言いますか、協力はしていきます。色々な方策の部分で考え方があれば、忌憚なく言っていただければと思います。子供たちのことを、1番に考えてこれからも、学校経営をよろしくお願いしたいと思っています。

よろしく願いいたします。

他には何かよろしいでしょうか。なければ今日の委員会は、このことだけのものです。

これにて終了させていただきたいと思います。本日は本当にご苦勞様でした。
ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

【司会】（大和田紀子教育総務課長）

はい。それでは、以上を持ちまして、令和4年度第4回総合教育会議を閉会いたします。皆様、大変お疲れ様でした。